

平成23年度労使定例政策研究会スタート



平成23年度労使定例政策研究会の第一回例会が、9月14日（水）午後、東北電労会館で開催された。今年度のテーマは、地域貢献、危機管理、顧客満足、自己実現の四つのテーマであり、53名（企業24名、労組29名）の皆さまから参加申込を頂いた。

第一回例会は47名の出席を得て、（株）シネマとうほく代表取締役社長の鳥居明夫氏を講師に招いて、地域貢献をテーマに『文化としての映画を通して地域の絆を深める』と題し1時間半、鳥居社長の地域運動としての映画に寄せる熱い思いを語って頂いた。

終了後のアンケートには、『映画にかける思いがひしひしと伝わり、涙をこらえるのに必死でした。』『映画と社会貢献ということは、全く繋がりを予想できませんでしたが、映画というものは、これほど社会に関われるものだと感じました。』『現下の社会の問題点（格差、貧困、人間関係）を改善・解決する策として、東北の心を広めることが大事であることに驚きました。最後は人の力であり、その原動力は感性、人間力、それを養い育てるのが、文化であることを深く学べ、大変有意義でした。』等々、多くの出席者の心に強く響く例会となった。

***今後の予定**（全ての例会、会場は東北電労会館、時間帯は14時半～16時）

第二回例会 平成23年10月5日（水）『お客さまや地域との信頼関係を如何に築くか』
企業行動センター所長 菱山隆二 氏

第三回例会 平成24年2月1日（水）『湯主一條、サービスプロセスの改善』
鎌先温泉一條旅館二十代目女将 一條千賀子 氏

第四回例会 平成24年3月2日（水）『地域と仕事と生活の調和、ワークライフバランス』
日本生産性本部参事 北浦正行 氏

取り組み中の事業

—宮城労働局委託—

平成23年度ふるさとハローワーク就職支援事業

電話相談ホットライン

非正規労働者を対象に、電話で職場定着支援・再就職支援に関する個別相談を実施中。

<開催期間>平成23年8月27日～9月18日までの水曜日、土曜日、日曜日

時間帯は水曜日16時～19時まで、土・日曜日は11時～14時まで

<電話番号>0800-800-0402（通話料無料）

就職支援・職場定着セミナー及び個別相談会

<開催日>大崎、9月22日（木）古川商工会議所会館

仙台、9月26日（月）江陽グランドホテル

大河原、9月27日（火）ホテル原田 in さくら

<セミナー>3会場共、第一回13時30分～、第二回15時30分～

『これからの生き方、これからの仕事』～正規雇用に向けた職業能力の高め方～

オフィス・ピー・スクエア代表取締役キャリアコンサルタント山下洋史 氏

<個別相談会>13時30分から17時まで、仙台5ブース、大崎・大河原2ブース

第一義 ～野田政権に期待すること～

8月29日、民主党代表選が行われた。菅総理が6月4日に退任表明してから実に87日目であり、政治空白の何ものでもない。国民とりわけ被災者の視点に立っているとは到底思えない。代表選には5名の候補者が立候補した。演説を聞いて、前原はお詫び、馬淵は未完成、海江田は見え見え、鹿野は一昔前、野田候補の演説が心に響いた。野田政権発足後の支持率は、独善的な前の印象から、謙虚に多様な力の結集を訴えた証でもある。現状の日本は、被災地の復興、原子力事故の収束、雇用を含め経済の再生等々、多くの課題を抱えている。そして誰に聞いてもピタリとしない、分かりにくいのは、財政問題である。国の借金が、アメリカはGDPの90%、日本は190%と巨額に膨らんでいる。このままで良いとは多くの国民は思わない。しかし、政治家は選挙を気にして国民に説明し理解の努力をしていない。些かウンザリしてきた。最後の望みは、バランスの良い野田首相と、物事をはっきりいう有言実行の安住財務大臣に期待したい。（記S・S）